

30周年記念誌（1991年～2022年）

平和の文化を育てよう



日本平和委員会メッセージ

再建30周年、おめでとうございます。

茨城県平和委員会は、再建以来、地域の草の根の幅広い平和の願いにこたえる活動を大切に、様々な努力をされてきました。40地域まで広がる地域平和委員会の活動は圧巻です。

「憲法9条守れ」「戦争はいや」「沖縄連帯」「原発なくせ」など、立場の違いを超えた共同を広げてこられました。宣伝物、意見広告の表現やデザインも、みんなで知恵を出し合い、広範な人々に響きあう工夫を、様々な形で行ってきました。

「平和かわら版」で全会員を結び、全県一斉宣伝行動、全県平和パネル展、12・8意見広告運動など、全地域、全会員が参加する活動にする努力も続けてきました。百里基地での日米共同訓練やオスプレイ訓練などに反対し、「自衛隊は憲法違反」を掲げる百里闘争を支える、たたかいの大黒柱にもなってきました。

こうした活動を多数の役員が喧々諤々と議論し進めてきたからこそ、県平和委員会なくして、茨城の平和運動なしと言われる状況が生まれているものだと思います。こうした活動から大いに学び、地域に根差し、共同を広げる平和委員会を全国に広げるため、私たちも頑張ります。

岸田大軍拡阻止のため、共に頑張りましょう。

2023年2月吉日
日本平和委員会事務局長
千坂 純

代表理事あいさつ

会員の皆さん、そして、私たちの運動に御支援、御協力を頂いている皆さん、茨城県平和委員会は、再建30周年を迎えました。共に喜びたいと思います。

茨城県平和委員会は、800名余りの会員数と県内40の地域・職場に基礎組織を有し、草の根からの反戦・平和運動を広範な人々と共に取り組んできました。ここに30周年を記念し、これまでの主な運動の歴史を綴ったリーフレットを発行し、お届けすることが出来ました。

21年発足した岸田自公政権は、敵基地攻撃能力の保有、膨大な軍事予算、日米軍事同盟強化などで前安倍・菅政権にもまして、憲法破壊と軍事優先の戦争する国づくりを強引に進めています。

今、戦争か平和かが問われているなか、私たちの果たす役割はかつてなく大きくなっています。

茨城県平和委員会は、30周年という節目に当たり、これまでの活動に学びつつ、命と暮らし・平和・民主主義を守り発展させる運動を、力強く前進させる決意を新たにいたすところです。

私たちの草の根運動は、国内外の様々な平和運動と深いところで繋がり、連帯し、大きな流れを作り出すものと確信しています。

引き続き、皆さんの御協力、御支援をお願い申し上げます。

2023年2月吉日
茨城県平和委員会代表理事
飯田 美弥子
木村 泉
近藤 輝男

ロシアによるウクライナ侵略戦争に反対する

2022年2月24日（木）、日本時間の6時頃、ロシアは、ウクライナの領土と主権を踏みにじり侵略を開始しました。

国連総会では、圧倒的多数によって、ロシアの侵略を非難する決議を採択。国際社会は、常任理事国ロシアに対し「国連憲章を守れ」「国際人道法を守れ」「核兵器使用禁止」等、「軍事対軍事」ではなく外交努力による戦争終結を求めています。

県内各地で抗議のスタンディング行動

茨城県平和委員会の呼びかけにより、3月3日、「ロシア軍の即時撤退」を求め、抗議の第一声を上げました。この緊急集会に50人が参加。小学生もマイクを握り「プーチンアウト」と言いました。

8月24日、ロシアによるウクライナ侵略から6カ月。ロシア軍は、ウクライナ南部にある欧州で最大の出力を持つ「ザポリージャ原発」を占領しました。プーチン大統領による核兵器使用発言もあり、核廃絶を強く訴えました。

侵略から10カ月となる12月24日、30回目となる抗議集会に取り組み、唯一の戦争被爆国である日本政府に戦争終結に向けた「仲介外交」を行うようにアピールしました。



しんぶん赤旗（2022年2月28日付）



水戸駅南口でのスタンディング
(2022年3月3日)



水戸駅南口でのスタンディング
(2022年8月24日)

県内各地で「戦争と平和」パネル展を開催

2006年から「戦争と平和」パネル展始まる

土浦平和の会は、土浦市長と懇談することによって、公共施設でのパネル展開催を実現しました。その後、各地域の平和の会等も自治体の後援を得て、公共施設を使用して開催することが出来るようになりました。

取手平和の会のパネル展 —駅連絡路を利用した一番長い展示—

取手平和の会は、JR取手駅連絡路及び藤代駅改札前を利用してパネル展を開催しています。



ウラギャラリー（土浦市）にてパネル展(2006年)



藤代駅改札前でのパネル展(2021年)



取手駅連絡路を利用したパネル展(2021年)

広島の高校生が描いた絵を展示

広島市立基町高校創造表現コースの高校生たちは、被爆者から聞き取りした内容を再現する様々なシーンの「原爆の絵」を描きました。核戦争の恐ろしさが大きな反響を呼びました。



絵画が非常にリアルで、高校生たちが如何に真剣に作成に取り組んだか想像できます。私の義父は、被爆者であり、この記憶は今後とも聞き継がれていくべきものだと思います。

「守谷平和の会パネル展来場者より」（2022年）

（画題：8月6日の空）

1945年8月6日、当時、14歳だった國重さんが練兵場で被爆された様子。原子爆弾が炸裂して青い夏の空に白く巨大なきのこ雲が現れたところ。

（絵の作者：坂本茜さん）



鹿嶋九条の会(2022年)



「おおみや平和の会パネル展来場者より」
写真よりも絵の方が訴えるものが多い。作者の受け止めたものが現れるからだと思う。（2022年）

百里基地の闘い 初午祭

1966年以降、「2月11日」開催が定着しています。県内ばかりでなく東京方面からの参加者もあります。当日は、地元の女性達が中心となり、赤飯と祝い酒が振る舞われ、とん汁の出店も恒例となっています。



大雪の中で開催(2014年)



「米軍機来るな」と多くの参加者で開催(2006年)



挨拶する内藤功弁護士
(2015年)



ヒューマン・ファーマーズ
ミニコンサート
(2022年)



400人が集った初午祭
(2023年)



「自衛隊は憲法違反」の大看板が新しく設置される
(2022年4月23日)

「欠陥機オスプレイ訓練反対」の抗議集会

2021年7月29日、百里基地反対連絡協議会は、「欠陥機オスプレイ訓練反対」の抗議集会を、航空自衛隊百里基地正門前で開催。同年12月13日の集会では、自衛隊及び小美玉市によって規制線（ロープ）が張られ、基地正門前での集会が困難になりました。その後、フェンスを設置。「土地利用規制法（2022年10月施行）」の危険な「本質」を象徴しているかのようです。



「オスプレイ訓練反対」百里基地正門前抗議集会
(2021年7月29日)



ゲート前に張られたフェンス
(2022年7月)



初の夜間訓練(含む未明)反対
の申し入れ(2022年10月26日)



阿字ヶ浦海岸では、上陸訓練等が盛んに実施されるようになった。(2021年3月23日)

沖縄連帯と沖縄ツアー

沖縄連帯ツアー

- 2015年9月28日 沖縄県庁前で、茨城県平和委員会作成の沖縄連帯チラシを早朝配布、53人が参加。
- 2018年6月25日 31人が監視船に分乗し、名護市辺野古米軍基地建設現場を海上から視察。
- 2022年9月22日 3,000日目となるキャンプ・シュワブ前「座り込み抗議」。そして、今日も「座り込み」が続く。

沖縄県知事選、連続3回当選

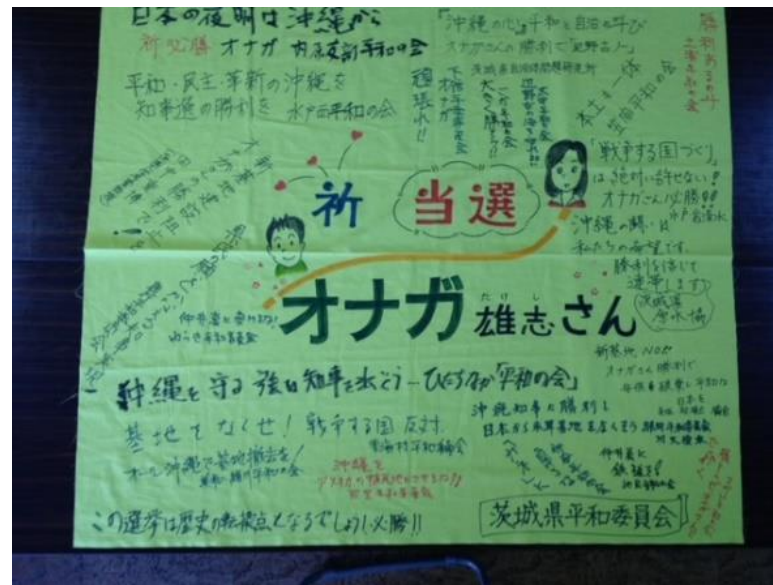
-支援金や寄せ書き、米を送る-

2014年、「オール沖縄」から立候補した翁長雄志氏が県知事に当選しました。翁長氏は、2018年急逝。そのバトンを引き継いだ玉城デニー氏が県知事選に出馬し当選。さらに、2022年9月、「沖縄を再び戦場に作るな」と訴え、再選を果たす。

辺野古米軍新基地建設ストップと普天間基地の閉鎖・撤去を求める沖縄県民の意思が示され続けています。



辺野古米軍新基地建設現場を海上から監視
(2018年6月25日から)



県知事選当選時に送った寄せ書き
(2014年11月)



沖縄県庁前で沖縄連帯チラシ配布
(2015年9月28日)

国民平和大行進とヒバクシャの願い

「核兵器禁止条約」国連で採択される

2017年7月 7日 核兵器禁止条約が採択され、核兵器は非人道的兵器と認められました。製造、保有、使用、使用による威嚇、被害者援助及び環境の修復等を定めています。

日本政府は、採決に背を向け、机上には大きな折り鶴が置かれました。

2021年1月22日 締約国が50カ国となり核兵器禁止条約が発効されました。

2022年1月 3日 「核戦争に勝者はいない。核戦争を絶対に始めてはならない」常任理事国一・米・ロ・英・仏・中国の5カ国共同声明が発表されました。

2月24日 ロシアがウクライナ侵略を開始。

2022年6月21日 第1回核兵器禁止条約締約国会議（～23日）締約国65カ国と34カ国がオブザーバー参加。NATO加盟国のドイツ・ベルギー等もオブザーバー参加したが、唯一の戦争被爆国である日本政府は出席せず、大きな失望と批判をよびました。



国民平和大行進は、地球上から核兵器を廃絶することを国民に呼びかけるため、1985年からスタート。以来、全国と県内各地をリレーでつないでいます。



「あなたがここにいてくれたなら」と書かれ机上に置かれた大きな折り鶴(2017年7月7日/しんぶん赤旗)



国民平和大行進(つくば市/2019年)

憲法改悪反対

～安倍・菅・岸田政権の悪政と闘う～

戦争法反対の闘い

2014年7月 1日 安倍晋三政権は、立憲主義を破壊する「集団的自衛権の行使容認」を閣議決定。

2015年9月19日 安保法制（戦争法）を強行採決。国会の内外から「野党は共闘」の声が沸き上がりました。



「憲法改悪・国葬反対」抗議集会（2022年9月24日）



総がかり行動(2015年6月17日)

○戦争法反対の集会とデモ行進が何度も行なわれる。

- 水戸市内屋デモ（2015年5月15日）
 - 茨城総がかり行動1,000人余が集結（2015年6月17日）
- 2016年4月 7日 「戦争法廃止と立憲主義の回復をめざす茨城県市民連合」が結成されました。
- 2022年9月24日 「改憲阻止いばらき総がかり行動実行委員会」は、「憲法改悪反対」「安倍元首相国葬反対」抗議集会を開催しました。
- 「戦争法の廃止を求める茨城県民連絡会」は、毎月「19日」行動を続けています。

9条守れ!!憲法フェスティバルを毎年開催

2004年より、毎年、5月3日の憲法記念日に開催されています。多彩な講師陣によって憲法と平和の問題が語られ、参加者は、勇気とエネルギーをもらっています。2020年、21年は、新型コロナ感染蔓延の影響もあり、駿優会館で開催しました。2022年、初めて水戸を離れ、つくば国際会議場大ホールで開催し、400人が集まりました。

2015年記念講演高遠菜穂子さん

■高遠菜穂子さんは、2004年4月7日、日本人男性2人とともにイラクの武装グループに拘束され、15日に解放される。現在も救援活動に携わっている。

2022年記念講演岡田正則早稲田大学教授

■岡田教授は、菅義偉元首相によって日本学術会議会員任命をその他5人と共に拒否される。(2021年)



高遠菜穂子さんの記念講演(2015年)
千波湖畔ハナミズキ広場



岡田正則さんの記念講演(2022年)



みんな一斉に「戦争No!」(2016年)

東海第二原発再稼働反対・廃炉に

- 2011年3月11日 東日本大震災が発生し、福島第一原発過酷事故となりました。
- 2012年4月 1日 4,000人大集会(ひたちなか市笠松運動公園大駐車場)が開催されました。
- 2014年9月13日 東海村地区に大看板を製作・設置しました。
- 2018年9月18日 「東海第二原発再稼働ストップ!茨城県大集会」が開催されました。
- 2020年1月 6日 「東海第二発電所の再稼働の賛否を問う県民投票条例案を求める」直接請求署名を開始しました。
- 6月23日 茨城県議会本会議で否決される。県民投票条例案に反対したのは、自民党、公明党及び県民フォーラムでした。



よなら原発4.1集会 (2012年4月1日)



条例案は、県議会連合審査会による審査、防災環境産業委員会による採決により否決

県民投票条例案否決される(2020年6月18日)
(東京新聞)



東海村に大看板(3基)設置
(2014年9月13日)



再稼働ストップ!茨城県大集会(2018年9月18日)

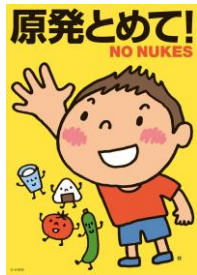
2021年3月18日 水戸地裁は、「実効性のある避難計画が出来ていない」「日本原電は、東海第二の原子炉を運転してはならない」と命じる判決を出しました。

2022年3月14日 東海村原子力問題調査特別委員会における委員長及び最大派閥の「数の力」による強行採決に抗議するため、東海村平和委員会と共に数度にわたる街頭宣伝を行いました。

8月27日 「STOP!東海第二原発の再稼働いばらき大集会」開催。450人参加。「日本原電東海第二原発の再稼働に反対する決議」と「岸田首相は、原発推進政策の短絡的な号令を撤回せよ」を採択しました。



抗議の街頭宣伝（2022年3月14日）



水戸地裁の判決（2021年3月18日）



毎週金曜日6時からの抗議アクション
(2022年7月22日)



水戸地裁の判決後の報告集会（2021年3月18日）

「金曜行動」継続は力なり!

毎週金曜日夜6時から茨城県開発公社西側で「東海第二原発再稼働反対・廃炉を求める」抗議アクションを実施しています。2012年7月から始まり、既に、471回(2023年1月)に達しました。

秋の平和宣伝行動

—私たちの活動を知ってもらうために—

秋の平和宣伝行動は、地域で結成された平和の会の力を結集し、「改憲反対」「9条守れ」等の訴えを県内隅々まで広げる運動として1995年頃スタートしました。当初は、県平和委員会で準備した宣伝カーを使い、各地域の平和の会等と協力して街頭宣伝に取り組みました。主要駅頭や住宅団地での宣伝、チラシ配布、ポスター貼り出しも行いました。現在は、「宣伝チラシ」を駅頭や戸別訪問、新聞折込によって配布することが定着しています。



常陸大宮駅頭での宣伝行動(2022年10月19日)
(おおみや平和の会)



戸別訪問でチラシ宣伝行動
(2022年10月8日)
(かすみがうら平和の会)



石岡駅頭での宣伝行動
(2020年11月29日)
(石岡平和の会)



宣伝カーを運行しての宣伝(2017年10月)



2022年に配布した宣伝チラシ



常陸太田駅前での宣伝行動(2022年11月8日)
(常陸太田平和の会)



街頭での宣伝行動(2022年10月30日)
(莖崎平和の会)

地域に根ざした活動をこれからも

代表理事飯田美弥子弁護士による憲法連続講座開催

-2022年2月から5月まで毎月-

日立市内にある「うぶすな法律事務所」所長の飯田美弥子弁護士による憲法連続講座を4回開催しました。笑いあり、自民党改憲草案への怒りありの学習会となりました。9条「改憲」の恐ろしさも再認識。オンラインを含め600人以上が参加し、3人の女性が入会しました。

平和かわら版を県内すみずみまで広げよう!

毎月5日、15日、25日の3回発行。通算959号発行（2022年12月末）を迎えました。地域でもオリジナルの「平和新聞」を発行しながら会員の親睦を深めています。日本平和委員会発行の「平和新聞」「平和運動」誌も学習資料として活用されています。

県内44すべての自治体、職場にも平和の会を!

地域に根ざした住民運動によって、県内44すべての自治体は、「核兵器廃絶平和都市宣言」を掲げています。しかし、日本政府に対する「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」採択は、まだ9自治体。人類と共存できない「核」廃絶を求め、粘り強く、何度も意見書採択や署名に取り組んでいます。そのためにも県内すべての自治体、そして職場に平和の会を!



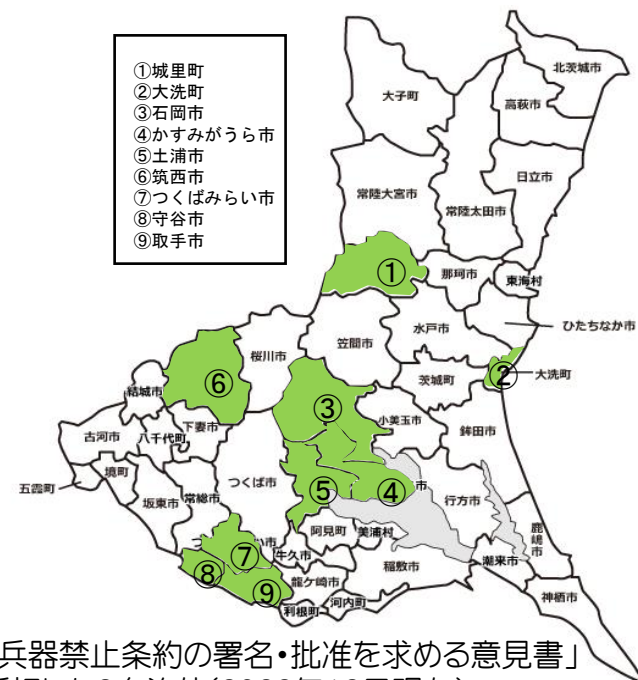
小さな活動でも地元でのお手伝いを……

ロシアのウクライナ侵攻から半年程経った今年の酷暑の日、庭の水まき最中のホースからの細かい水の上に小さな虹ができていました。遠くの地での戦いに怒りつつ、一日も早い収束を願う日々でした。一瞬、「日常のこのささやかな景色が壊される事態になど、ならないだろうか。」とおびえた事を覚えています。平和委員会へは名前だけの所属で年をとってしまいました。出来ることは多くないと思いますが、小さな活動でも地元でお手伝いをと考えています。

さくらの街日立平和の会 藤本明美



飯田美弥子弁護士による憲法講座



「核兵器禁止条約の署名・批准を求める意見書」を採択した9自治体(2022年12月現在)

新聞意見広告の歴史

初めての新聞意見広告掲載は、1984年に「トマホークくるなの」抗議運動の中で取り組まれました。2回目は、1993年「憲法ありがとう」（新しいばらき5月3日付）、3回目は、2000年「平和憲法を21世紀につなごう」（朝日新聞5月3日付）でした。4回目は、2003年「イラク戦争反対」（茨城新聞12月8日付）。以降は、毎年、新聞意見広告に取り組み、2022年の掲載（朝日新聞12月3日付）で通算21回を数えます。

この取り組みは、県平和委員会の活動をより多くの人たちに知ってもらい、平和運動の裾野を大きく広げる、会員以外の個人や団体とも協力関係を深める、運営資金を得るための目的で行われています。2022年も1,300口数を超える賛同を頂きました。意見広告制作委員会（スタッフ）は、テーマと題材を選び表現するのを話し合いながら制作しています。

（写真参照）

さようなら 東海第二原発

意見広告

青筋がゾクッ 東海第二原発

3月11日の津波では原発にあと70センチの津波を押し寄せました。もし、あと1メートル高くなったと想像し...

村上東海村長 「既成事実」を提案

①地震多発地域に4.4級の地震を発生させていることは異常な状況ではない、日本の社会主義なので、原発をゼロに削減が大きすぎるのでゆるめると言えぬ。 (1月1日 読者投稿)

②4.4の地震に100万人の人口は発生する危険な状態ではないと断定ができません。 (1月1日 読者投稿)

危険な原発との同居はもうごめんです

茨城県平和委員会
〒310-0012 水戸市見川 5-127-281
E-mail: ibahpe@amber.plata.or.jp Tel/Fax: 029-251-2806

2011年

東海原発との同居はもうごめんです!

12月16日は衆議院議員総選挙の投票日です。「脱原発」憲法9条を守ることを約束する国会議員を多数当選させましょう。

事故で
「魔術は原発ゼロに
平和委員会の活動が
日本列島に原発はいりません

茨城県平和委員会
〒310-0112 水戸市見川5-127-281 E-mail: ibahpe@amber.plata.or.jp TEL/FAX: 029-251-2806 http://www.ibahpe.org/

2012年

「秘密保護法案」の強行採決に断固抗議します

戦争も原発もゴメンです!!

集団的自衛権の行使はダメ!!

秘密保護法は許されません!!

原発再稼働はダメ!!

平和委員会の活動が
日本列島に原発はいりません

茨城県平和委員会
〒310-0112 水戸市見川5-127-281 E-mail: ibahpe@amber.plata.or.jp TEL/FAX: 029-251-2806 http://www.ibahpe.org/

2013年

憲法9条

平和委員会の活動が
日本列島に原発はいりません

茨城県平和委員会
〒310-0112 水戸市見川5-127-281 E-mail: ibahpe@amber.plata.or.jp TEL/FAX: 029-251-2806 http://www.ibahpe.org/

2014年

民主主義ってなんだ?

主権者は私たち。平和と憲法をまもる。国民の願いを届けよう。

2000万署名 兵隊の力を止めろ

憲法違反の戦争法廃止を

あなたを2000万署名で国会に届けよう

平和委員会の活動が
日本列島に原発はいりません

茨城県平和委員会
〒310-0112 水戸市見川5-127-281 E-mail: ibahpe@amber.plata.or.jp TEL/FAX: 029-251-2806 http://www.ibahpe.org/

2015年

平和な心は 日本晴れ

平和がいいよね 憲法9条

「戦争を止めよう」

「原爆を止めよう」

平和委員会の活動が
日本列島に原発はいりません

茨城県平和委員会
〒310-0112 水戸市見川5-127-281 E-mail: ibahpe@amber.plata.or.jp TEL/FAX: 029-251-2806 http://www.ibahpe.org/

2016年

朝日茨城版 15線広告

意見広告

この笑顔
いつまでも

憲法九条は
平和をみちびく羅針盤。
世界に誇る。私たちの宝。
私たちは
「戦争する国」を許しません。
憲法九条を守り継ぎましょう。
子どもたちの笑顔と
輝く未来のために
一緒に、あなたも――

日本国憲法 第九条 戦争の放棄

① 日本国は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国際の紛争は、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法改正必要なし

茨城県平和委員会

2017年

2018年(平成30年)12月8日 土曜日 朝日新聞 【全国広告】

意見広告

WOR PEACE

世界にはばたけ憲法9条
沖縄に主権をとりもどそう!!

戦争はダメ! 平和がいい

日本国憲法 第九条 戦争の放棄

① 日本国は、正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国際の紛争は、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。
② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

憲法改正必要なし

戦争放棄

茨城県平和委員会

2018年

意見広告

安倍政権の自壊す未来は...

改憲せず憲法を法かしたら...

あなたは何どちらの未来を選びますか?

この国をめぐって争いあふれようとしています。

茨城県平和委員会

2019年



新聞意見広告制作会議の1コマ(2022年10月17日)

意見広告

あなたが元気のいい「日本」こそ
あなたに誇れるべき国です。

あなたの大切なものを、守られていますか?

茨城県平和委員会

2020年

意見広告

ヒバクシャはあきらめなかったんだ。
その思い、受け継ごうよ。

日本も
批准を!

茨城県平和委員会

2021年

意見広告

「戦争」「核兵器」
アウト!
「原爆」は退場!
選手交代です!

茨城県平和委員会

2022年

主な出来事と私たちの歩み

- | | | | |
|----------|-------------------------------|----------|--|
| 1949年 4月 | パリ・プラハで世界平和擁護大会開催。同時に東京でも開催 | 5月 | 「憲法集会」4団体共催 |
| 1950年 2月 | 日本平和委員会の前進である「日本平和を守る会」結成 | 12月 | ソ連邦崩壊 |
| 6月 | 朝鮮戦争（～53年） | 2001年 8月 | 再建10周年記念ベトナムツアー開催 |
| 9月 | 日本平和委員会結成 | 11月 | 茨城県平和委員会再建10周年記念式典 |
| | ※1950年代茨城県平和委員会結成される | 2002年 4月 | 規約改正「会長制から代表理事制へ」 |
| 1953年 3月 | （ストックホルムアピール）署名に取り組む | 5月 | 「有事法制に反対する県連絡会」結成 |
| 1956年 | 百里基地反対規制同盟結成 | 2003年 3月 | 「イラク攻撃反対」統一集会 |
| 1958年 7月 | 百里裁判開始 | 2004年 5月 | 「5・3憲法統一集会」開催 |
| 1960年 6月 | 安保条約反対デモ | 6月 | 日本平和大会 in つくば |
| 1962年12月 | 百里5,000人集会 | | 井上ひさし氏等9人にて「9条の会」結成 |
| 1966年 2月 | 百里「初午祭」開催（2月11日に恒例化） | 2006年 2月 | 「米軍機くるな2・25大会」（1,000人参加） |
| 1972年 5月 | 沖縄県発足（日本復帰） | 2007年 3月 | 憲法改正のための「国民投票法案」阻止 |
| 1981年 | 茨城県平和委員会(再建) | 2010年 8月 | 沖縄連帯ツアー開催（21人参加）
伊波洋一宜野湾市長を激励 |
| 1984年 5月 | 「トマホーク来るなの」と新聞意見広告掲載 | 2011年 3月 | 東日本大震災 |
| 10月 | 百里5,000人集会 | 10月 | 「脱原発」チラシ10万枚配布 |
| 1989年 6月 | 百里裁判最高裁判決でる | 12月 | 新聞意見広告掲載（以降、毎年取りむ） |
| 1991年12月 | 茨城県平和委員会(12月14日再々建される) | 2012年 2月 | 百里基地「日米共同訓練中止を求める申し入れ」
抗議集会 |
| 1993年 5月 | 日本平和大会 in 水戸 | 4月 | 「さよなら原発4・1大集会 in いばらき」
（笠松運動公園）4,000人集会 |
| 1994年 8月 | 韓国・沖縄同時「平和ツアー」開催 | 7月 | 茨城県平和委員会「再建20周年記念の集い」
（石岡グリーンパレス） |
| 1995年 7月 | 戦後50年「戦争パネル」77枚製作 | | リーフレット「さらなる前進をめざします」発行 |
| 1998年 8月 | 「戦争協力反対県連絡会」結成 | | |
| 1999年 1月 | 阪神淡路大震災 | | |

- 2013年11月 秘密保護法を作らせないネットワークいばらき結成
- 12月 「特定秘密保護法」強行採決される
- 2014年 2月 大雪の中で「百里初午祭」開催
- 7月 集団的自衛権行使容認閣議決定
- 2015年 3月 百里基地「日米共同訓練中止を求める申し入れ」抗議集会
- 6月 「戦争法案に反対する茨城県実行委員会」結成
- 9月 「戦争法（安全保障関連法）」強行採決
沖縄連帯ツアー開催（53人参加）
- 2016年 4月 「戦争法廃止と立憲主義の回復をめざす茨城県市民連合」結成
- 7月 「百里を語る会」始まる（全6回）
- 2017年 6月 「共謀罪」強行採決
- 10月 百里基地「ファントム戦闘機炎上事故」抗議集会
- 2018年 2月 「安倍改憲NO!3000万署名オール茨城」設置
- 4月 「米軍機来るな!茨城県実行委員会」結成
- 6月 「沖縄連帯と学びのツアー」（つくば市平和委員会と共催（31人参加）
- 9月 「東海第二原発再稼働STOP!いばらき集会」
- 11月 一般社団法人「百里の会」発足。平和公園等の土地管理始まる
- 2019年11月 「STOP!東海第二原発再稼働いばらき集会」
「2019平和大会 in 沖縄」（9人参加）
- 2020年 1月 「東海第二原発の県民投票条例案」を求める直接請求署名活動始まる
- 5月 新型コロナ感染症蔓延—「憲法フェスティバル」中止
- 6月 茨城県議会に「東海第二発電所の再稼働の賛否を問う県民投票条例案の制定」が提案されるが否決される
- 2021年 3月 水戸地裁「東海第二原発再稼働差し止め請求」を認め、「日本原電は、東海第二原子炉を運転してはならない」と命じる
- 5月 阿字ヶ浦海岸「自衛隊勝田駐屯地」訓練監視
- 7月 百里基地「オスプレイ訓練反対申し入れ」抗議集会
- 12月 百里基地「日米合同訓練中止申し入れ」抗議集会
- 2022年 2月 ロシアによるウクライナ侵略戦争始まる（2月24日）
- 3月 ロシアによるウクライナ侵略抗議集会（3月3日・第1回）
阿字ヶ浦海岸「自衛隊勝田駐屯地」訓練監視
- 7月 安倍晋三元首相街頭演説中銃撃され死亡（7月8日）
旧統一協会と自民党の癒着が明らかになる
- 8月 「STOP!東海第二原発の再稼働いばらき大集会」
- 9月 国民反対多数の中、安倍元首相の「国葬」強行
百里基地「日独共同訓練中止申し入れ」抗議
- 10月 百里基地「昼夜間訓練中止申し入れ」抗議
- 11月 百里基地「日米合同訓練中止申し入れ」抗議集会
- 12月 日本平和委員会「岸田政権の『安保関連3文書』閣議決定に抗議する」声明発表

全県に広がる平和の会・平和委員会



茨城平和会館の現在の様子(会館の2階に事務所があります。2023年2月撮影)

茨城県平和委員会 <https://ibaheiwaweb.fc2.com/>
お問い合わせ E-mail : i-peace877@silk.plala.or.jp
〒310-0912 茨城県水戸市見川5-127-281
Tel/Fax 029-251-2806

編集後記

「30周年記念誌」をお読み頂き有難うございます。1991の再々建より今回で2回目の記念誌発行となります。前回は、2012年に発行していますので、今回は、2013年から2022年までの「私たちの歩み」を記録しました。

この10年間は、憲法9条破壊の安倍・菅・岸田政権と重なり「戦争の準備」、貧困と格差が一段と進んでしまいました。「軍事費を削って暮らしに回せ」。反戦と軍縮の訴えがますます重要になっています。個人として尊重される社会の発展のために「不断的努力」を惜しまず、がんばりましょう。

記念誌タイトルを「平和の文化を育てよう」としました。

表紙画提供：村山 隆治 氏